

鈴木商店と鉱山事業

三井三菱佐田河合と旧来の財閥の大卒の輩の基礎にはこれこれ有望なる石炭鉱山石油
鉱山金銀銅鉛亜鉛等の金属鉱山の開発至量が大
きな深泉となつておることはい周知の通りで
あるが元來鉱山事業そのものは世間で百一と
いはれる杯に見込み遠くや不意の災害などが
多くて臭面目な事業は容易に着手せぬものと
されてゐた鈴木商店は元來前記の如く物品

の製造賣買を主業として發展して來たのであ
らからこれら危険の多く伴ふ事業は最後まで
足送られてをうたのである然し第一次欧州大
戦以後は軍需産業と主として重化学工業が著
しく増大したのが金属工業や石炭の必要が鈴
木商店自身に於て痛切になつて來たから大
正四年頃以降本店に鉱山部を設け石炭は帝國
産業と中心として進展せしめ金属類は日本金
屬トキカ中心となつて開發した金属の方は山
口果に志田銅山を福岡果鹿兒島果に於ては金

銀鉾山と主量し予二次世界大戦を時から岩手
果之慈と島根果大東に於てはモリブデンを
ルをル主量せられ別は島根島に産出製錬所を
設け匠鉛の鉾石から純匠鉛を製造することか
行はれたる自分は金属鉾山の方はくわしく承知
しておられぬから別の方面で調べられたいこ
ころは石炭関係を書いてみる